

予算決算委員会会議記録

1. 日 時	令和2年8月19日（水）
2. 場 所	議員協議会室
3. 出席議員	園田依子、安井博幸、原田豊彦、前田えり子、上田英樹、隅田雅春、丹後政俊、足立義則、向井千尋、大西基雄、栗山泰三、かんなん芳治、渡辺拓道、吉田知代、河南克典、大上和則、小島政行、森本富夫
4. 市部局	酒井隆明市長、平野斉副市長、前川修哉教育長、総務課長、行政経営部長、市民生活部長、保健福祉部長、農都創造部長、観光交流部長、上下水道部長、教育部長
5. 協議事項	<p>議案第58号 令和2年度丹波篠山市一般会計補正予算（第7号）</p> <p>議案第59号 令和2年度丹波篠山市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）</p> <p>議案第60号 令和2年度丹波篠山市水道事業会計補正予算（第3号）</p>
6. 議事の経過	<p>9：30 開会</p> <p>園田委員長 挨拶</p> <p>園田委員長 開議宣告</p>
<p><b>総務文教分科会座長報告</b></p> <p>■議案第58号 令和2年度丹波篠山市一般会計補正予算（第7号）</p> <p>渡辺座長より報告（別添参照）後、質疑応答。</p> <p style="text-align: center;">＜主な質疑応答等＞</p> <p>かんなん委員 学校教育充実事業に関し、コロナの影響で3名のALT入国できないため、外部委託を検討するとのことですが、例えば、市外の人材に外部</p>	

委託することで、コロナ感染のリスクも高まるのではないかと。市内の人材を活用するなどの意見や議論はなかったのでしょうか。

渡辺座長 市内の人材を活用するなどの意見や質疑等はありませんでした。

### 民生福祉分科会座長報告

#### ■議案第58号 令和2年度丹波篠山市一般会計補正予算（第7号）

#### ■議案第59号 令和2年度丹波篠山市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

向井座長より報告（別添参照）後、質疑応答。

#### ＜主な質疑応答等＞

安井副委員長 新生児特別定額給付金支給事業について、支給対象者としては3月31日までに出生した方としていますが、明石市の事例などでは、4月1日の方まで給付しています。同じ学年に給付するというのであれば、4月1日までとするべきではないかと思いますが、そうした議論はありましたか。

向井座長 分科会においても審査をしており、市当局の答弁としては、そうした運用について検討していくということでした。

安井副委員長 次世代育成支援対策事業に関し、子どもの食の応援事業補助金について、従来の子ども食堂との違いについて説明願います。

向井座長 子ども食堂にかかわる助成事業については、子どもの居場所づくりに重きを置いており、放課後など家に親がいない間、場所を提供して遊び、また御飯を食べてもらうというような目的になっています。ただ、子ども食堂に関しては、新型コロナウイルスの関係により、現在、活動されていない状態になっています。それに対して、子どもの食の応援補助事業については、新型コロナウイルスの影響によって、子ども食堂が実施できないなか、家族と一緒にご飯が食べられなかったり、栄養の豊富な食事を摂れないことがありますので、弁当を配達するなど、食事の提供に重点を置いている事業になります。

渡辺委員 子どもの食応援事業補助金事業の必要性について、実際そうした支援が必要な子どもが、どの程度あって提案されたのかという議論はありましたか。

向井座長 具体的な必要性についての説明はありませんでした。

上田副座長 そうしたニーズ調査等はありません。しかしながら、ささっ子食堂、そして、ほっこり食堂、TCキッチン、おかのっ子広場等の代表者との話し合いの中で、やはりそうしたニーズがあるということを知り

ております。また、先ほどの4つの子ども食堂については、それぞれ居場所づくりと食事の提供をされていますが、どのぐらいニーズがあるのかという調査はできていないことから、今回の事業の中で把握したいとのことでした。ニーズ調査の進め方、対象エリアについては、分科会でも議論になり、全市的なものなのか、それとも地域を絞ったものなのかという点について質疑がありました。その際、全市的にニーズ調査を行うことを確認するとともに、今後の施策に展開できるよう調査結果を提供いただく旨、確認しております。

隅田委員

国民健康保険特別会計に関し、診療所の網戸の設置について、会議録をみていると、上田副座長から草山診療所の現状報告がなされており、多い日には待合室10人ほどが待っている状況、いわば密の状態にあると理解しました。ただ、市当局の説明では、各診療所の状況確認をして行いたいというような、非常に抽象的な答弁で終わっています。地域医療を支えている市の診療所が密の状態にあるとすれば、大きな問題であると思います。それ以上の議論は分科会では見当たらないように見受けませんが、分科会において部長等に対する再質問なり、何らかの提言等はあったのでしょうか。

向井座長

市の答弁としては、実態を踏まえて検討していくとのこと、それ以上についての議論は行っておりません。

### 産業建設分科会座長報告

■議案第58号 令和2年度丹波篠山市一般会計補正予算（第7号）

■議案第60号 令和2年度丹波篠山市水道事業会計補正予算（第3号）

吉田座長より報告（別添参照）後、質疑応答。

#### <主な質疑応答等>

かんなん委員 観光客おもてなし事業に関し、オンラインショップめぐりについて確認させていただきたいのですが、参加資格条件はあるのでしょうか。また、販売品目についての制限はあるのでしょうか。

吉田座長

オンラインショップめぐりの参加資格は、現在ネット販売されている方、それから、今後ネットを始めるという方を対象としています。オンラインショップのカテゴリとしては、「農」として米、野菜、豆、粟、芋、「食」としてお酒、菓子、佃煮、肉、茶、「匠」として焼き物、工芸品、民芸品の三つの品目の中から、選択していただくような形になっています。

かんなん委員 それでは制限があるかないかと言ったらあるということですね。例えば一般的な工業製品とか、日用品的なものはだめというように解釈していいのでしょうか。

吉田座長 そのように理解しております。

渡辺委員 同じくオンラインショップの関係について、PCサイトを運営されている市内の事業者もあるとは思いますが、100店も開設されているのかなという感じがあります。新規でPCサイトを構築されようとしている事業者への支援について、この事業の中で説明はありましたか。予算的に含まれているかどうかという事ではなく、この事業に参加したいがPCサイトを構築しておらずPCサイト立ち上げに際して相談をしたいとなった際の相談窓口についての説明または質疑はありましたか。

吉田座長 観光協会において相談支援していただけるように考えていきますという回答いただいております。

#### **議員間討議**

園田委員長 全体を通して何かご意は見ありませんか。

隅田委員 市が運営している診療所においては多くの患者がいます。草山診療所の待合室に10人も人が待っているというのは、一時的なものであるかもしれませんが、新型コロナウイルスの感染が拡大している中、感染防止のため、密になる状態を防ぐ、また、クラスターの発生を回避することが重要であることを踏まえると、市の対応がスピード感に欠けるものではないかと思えます。こうしたことから、市長への確認質問をしていただければと考えます。各診療所から環境改善の要望が来ているのか、それとも来ていないのかという点や分科会審査における委員からの提案に対して、スピーディーに動いているのか、という点を質問いただきたいと思います。

園田委員長 他に意見はありますか。

上田副座長 今回の交付金については、コロナ対策に重心がおかれているものではありますが、各診療所については年配の方も多いため、感染防止対策として、網戸を設置するだけで十分といえるのだろうか、さらに環境整備する必要があるのではないかと感じています。当局としては、まずは、各診療所の状況を確認して検討していきたいとの答弁であったことから、次の展開に期待したいということで分科会の審査は終わっていますが、改めて委員から意見が出ていることも踏まえ、今回の交付金もいくらか残っているようなことも聞いていますので、市長総括いただけれ

ば、ありがたいと思います。

向井座長 分科会の中では、確認して検討します、という回答でした。座長という立場からの発言ではありませんが、先ほどからの各委員の意見を踏まえ、質問いただいてもいいのかなと感じています。

大西委員 診療所の3密はリスクが高いと考えることから、早急に対策をとるべきであります。診療所を利用される方は高齢者の割合が高いことから、命に関わる可能性もあると思いますので、早急に対策を講じるべきだということで、市当局に意見しておく必要があると考えます。

園田委員長 市長への総括質問を行っていただきたいといった意見がでておりますが、そのほかのご意見をいただきたいと思います。

小島委員 これまでの発言をきいていると、補正予算を修正するということが難しいと考えることから、指摘されている点について市長に対して今後どのように考えているのか質問されてはどうかと思います。また、市の現状の考え方としては、「診療所の待合室においては、座席間の距離を取るような形で対応していきたいと考えており、各診療所の状況を確認していきたいと思います」とあることから、より具体的な密対策についても質問してもいいのかなと思います。

河南委員 実際のところ、各診療所が頻繁にぎゅうぎゅう詰め状態にあるとは思えない。診療所の年間利用者については、1日当たりで換算すると3人～5人といった数値であったと記憶しています。しかしながら、新型コロナウイルスという状況を踏まえ、診療所の現状を早急に調査して、必要性があれば早急に対応されたいというような形の質問にしてはどうでしょうか。早急な調査と、調査結果を踏まえた早急な対応が必要という点が重要ではないでしょうか。

渡辺委員 あくまでも補正予算の審査であることから、この論点については質問の仕方が難しいのではないかと考えます。委員会審査の過程において、必要と考える事項について審査意見として伝えていくことも出来るかとは思いますが、その点は委員会の中で協議の上、委員長の判断でしていただいたらいいのではないのでしょうか。質問という形になるのであれば、それはそれで構わないと思います。

園田委員長 補正予算審査という中で質問すべき事項なのかという点については、疑問がないわけではありません。そうした意味では、所管の民生福祉常任委員会の委員会活動の中で、状況把握なり、現地調査等も含め、調査いただき、担当課に意見いただく方法もあるのかなと感じています。

かんなん委員 市当局の回答は、3密にならないように、一定の対策は講じた上で、実態調査を行い検討するというものであったと認識しています。そう

した意味では、先述の新生児特別定額給付金事業補助金についても、4月1日生まれを対象とするかどうかという点について市当局の回答は「検討します」で終わっています。こうした質疑応答になったものを市長総括で取り上げていては、ほかの質疑事項にも波及していくのではないかと思うことから、果たしてこのやり方がいいのかどうかということを感じています。いっそ市当局が「検討します」と回答した事項を、集約して議会に報告するように要望してはどうかと思います。

隅田委員

新型コロナウイルス感染症の拡大をいかにして防いでいくかという点は、非常に重要度の高い問題であると考えています。頻度は低いかもしれないが、草山診療所に10人という方が待っている状況、ましてや医療機関において、こうした密な状態が待合室において発生することはあってはならないと考えます。こうした事態が委員から指摘されて、初めてわかったというようなことであつたとすれば、これはまずいのではないのでしょうか。新型コロナウイルス対策について検討する中で、例えば、待合室の患者が非常に多い状況があるなど、そうした現状把握をしっかりと行ったのかという点は重要であると考えています。市が運営する診療所において、クラスターが発生することはあってはならないものですが、市当局の答弁をみると、危機感があまりないのではないかと思わざるを得ません。待合室において人数制限を設け、それ以上の方は違う場所で待機してもらう、あるいは入場整理券を配って、円滑に案内できるようにするなどの方策は考えられるものがあります。緊張感を持って、診療所の改善をしなければならないにもかかわらず、新生児特別定額給付金事業補助金の支給対象者の条件については、それこそ該当者が出てきた場合に検討すればいいのではないのでしょうか。診療所のコロナ対策については、緊急に対応する必要があると考え、問題提起したものとご理解いただきたいと思います。

園田委員長

様々なご意見を出していただきましたが、市長への確認質問については、基本的に委員の総意で行うことになっています。各委員の意見を踏まえると、市長への確認質問を行うことについては、委員会としての総意であるとは言い難い状況であることから、今回の委員会においては、市長への確認質問は行わないことにします。しかしながら、委員から意見のあつたように、新型コロナウイルスが感染拡大する中、市診療所の待合室において、頻繁に起こるものではないにせよ、多くの方が待っている状態が発生していることは、利用者には高齢者の方が多くあることから、望ましくありません。勿論、市当局においては、空気清浄機や網戸の設置、座席間隔を設ける誘導など、一定の対策を

講じてきてはいますが、各診療所の状況・現場を早急に把握した上で、必要に応じ、更なる環境改善、診療所運営に取り組んでいく必要があると考えます。8月21日の本会議において、本日、各委員から頂いたご意見を踏まえて、審査報告を行うとともに、所管である民生福祉常任委員会においても市診療所の感染対策については注視していただくようお願いし、今回の市長への確認質問は行わない旨、ご理解よろしくをお願いいたします。

— 異議なし —

休憩 10:43～11:00

#### 討論・表決

園田委員長 討論はありませんか。

— 委員長と呼ぶものなし —

園田委員長 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

議案第58号 令和2年度丹波篠山市一般会計補正予算（第7号）

— 討論なし ・ 賛成全員で可決 —

議案第59号 令和2年度丹波篠山市国民健康保険特別会計補正予算

— 討論なし ・ 賛成全員で可決 —

議案第60号 令和2年度丹波篠山市水道事業会計補正予算（第3号）

— 討論なし ・ 賛成全員で可決 —

園田委員長 委員会の審査報告については、委員長に一任願いたい。

— 異議なし —

園田委員長 本日の会議は会議記録については、事務局に調査させ、委員長、副委員長において内容確認を行いたいと思います。ご一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

— 異議なし —

園田委員長

安井副委員長 挨拶

11:02 閉会